

部 局 経 営 方 針

平成 2 4 年度

薩摩川内市

部局名	市民福祉部	部局長名	中川 清
-----	-------	------	------

部局内の 経営資源	当初予算	4 3 6 . 4 億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		1 8 5 人	1 1 1 人	2 9 6 人

①部局の使命 (組織の存在価値)	薩摩川内市地域福祉計画(平成19年3月策定)の基本理念『すべての市民が住み慣れた地域で、お互いに支え合い安心して健やかに暮らせるまちづくり』を目指し、部内外との連携強化により事業を実施することである。 また、誰もが快適な生活を維持し安心して暮らせるまちづくりを目指し、自然との共生、環境への負荷の少ない循環型社会を構築することである。	②組織目標像	【施策の目標像】 <市民福祉部門> (1) 民生委員、健やか支援アドバイザー、民間事業者及び市役所をはじめ各行政機関との連携により、要支援者の把握・支援・相談体制が充実されている。 (2) 地区コミュニティ協議会と協働して介護予防事業を実施し、市民の参加により、健やかに暮らせる地域づくりが確立されている。 (3) 保育所・放課後児童クラブの整備、その他子育て支援が進められ、子どもを産み育てやすい環境が充実されている。 (4) 障害者（児）への福祉サービスが充実され、障害者の社会参加が促進されている。 (5) 健康づくりへの意識が向上し、国民健康保険事業・介護保険事業は健全に運営され、医療体制も充実されている。 (6) 戸籍・住民異動の正確で迅速な処理と身近なところで証明書発行ができています。 <環境部門> (1) 環境保全の体制が確立している。 (2) ごみ減量化、リサイクル推進の意識が根づいている。 (3) 一般廃棄物処理施設など環境施設が適正処理されている。 【組織の目標像】 (1) 職員一人ひとりが、市民からの問合・申込・相談に対して親切・的確に対応でき、また、課内の応援体制ができています。 (2) 地域福祉の推進団体である市社会福祉協議会をはじめ民生委員や関係協力団体（者）と連携が取れ、問題が発生した場
-----------------------------	--	---------------	---

部 局 経 営 方 針

平成 2 4 年度

薩摩川内市

			合には迅速に対応できる組織 (3) 少子高齢化の進展と限られた財源・職員数の中で、より効率・効果的な事業の企画立案と運営、そして、市民に分かりやすい周知啓発(広報充実)ができる組織 (4) 市民・事業者・地域及び関係団体と連携がとれている。 (5) 市民のニーズにスピーディかつ的確に対応できる組織
--	--	--	---

平成 2 4 年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

③重点事項	④具体的な成果目標 (めざそう値)	⑤具体的な取組内容	⑥進捗状況 (年度中間)	⑧年度末の達成状況
健康増進の推進 【市民健康課】 【保険年金課】	(1) 予防接種の推進 ・子宮頸がん、小児用肺炎球菌・ヒブワクチンの接種率 70%を目標とする。	① 接種料全額助成(年齢制限有) ② 広報紙、チラシ、ポスター等による広報	○ △ ○	① 昨年同様、実施中 ② お知らせを個別発送する等広報は行っているが、接種率は伸びていない。
	(2) がん検診の推進 ・大腸がん検診の受診率 30%を目標とする。	① 大腸がん無料クーポン券を送付し、受診促進を図る。 ② 未申込者に対しては、再申込をとり、受診促進を図る。 ③ 個人通知、ポスター等による広報	○ ○ ○	大腸がん無料クーポン券の送付および未申込者に対する再申込の取組を実施した。また、各地区コミにポスターを掲示した。
	(3) 高齢者への各種支援 ・介護予防ボランティア事業の推進 ・ボランティア活動の有効ポイント数 1,000,000 P の達成	① ボランティア活動登録者へ研修会の実施による活動推進 ② 対象者を 2 号被保険者まで拡充する。 ③ ボランティア活動内容の充実による活動実績の増加	○ ○ ○	登録者・受入事業所を対象とした研修会を実施し、対象者の拡充とボランティア活動の拡大を周知し、活動を推進した。登録者数は、450 人から 900 人以上に増加し、活動も増加している。

部 局 経 営 方 針

平成 2 4 年度

薩摩川内市

	(4) 介護予防事業の推進 ・二次予防事業通所型事業の参加率の目標を対象者の 6 % 3 0 0 人とする。 ・二次予防事業訪問型事業の参加者を 5 0 人以上とする。	① DVDによる地域・関係機関への周知 ② 1 7 地区での講演会開催による教室参加勧奨 ③ リスクの高い対象者への優先的訪問による参加勧奨	○ 地区組織や関係機関の会、サロン等で DVD による普及啓発を行った。(4 0 回以上) 17 地区で講演会も実施し、通所型事業は 10 月現在、参加実績 285 人。訪問型はハイリスク者の訪問を実施し、10 月現在訪問型利用者 12 人。さらに参加勧奨を進めている。	
	(5) 特定健診 (40～74 歳) の受診率向上 ・ 24 年度 : 50 % 以上 (国 : 65 %) (20 年度 : 30. 6 %、21 年度 : 33. 0 % 22 年度 : 33. 1 %)	① 受診券発行時のチラシ同封 ② 受託医療機関の拡大 ③ 事業所健診データ収集事業の実施 ④ 情報提供事業の実施 ⑤ 地区コミへの協力依頼 ⑥ 市民健康課と連携による制度の周知広報 ⑦ 未受診者への受診勧奨通知 : 9 月実施 ⑧ 電話勧奨事業 (コールセンター委託の実施) ⑨ 特定健診等実施計画策定事業 (第 2 期計画 : H25～29)	○ ① 4・6 月発送済み ○ ② 鹿児島労働衛生センター・高江記念病院 ○ ③ 実施済み ○ ④ 1 月実施予定 ○ ⑤ 依頼済み (ポスター掲示) ○ ⑥ 4・6 月発送済み (がん検診との合同チラシ配布) ○ ⑦ 8・9 月発送済み ○ ⑧ 8～11 月実施中 ○ ⑨ 素案策定済み (パブリックコメント実施中)	
	(6) 長寿健診 (75 歳以上) の受診率向上 ・ 24 年度 : 30 % 以上 (20 年度 : 24. 4 %、21 年度 : 29. 5 %、22 年度 : 29. 2 %)	① 受診券発行時のチラシ同封 ② 対象外の者の掘り起こし ③ 受託医療機関の拡大 ④ 地区コミへの協力依頼 ⑤ 市民健康課と連携による制度の周知広報	○ ① 4・6 月発送済み ○ ② 治療中の者を除外し発送 ○ ③ 高江記念病院 ○ ④ 依頼済み (ポスター掲示)	

部 局 経 営 方 針

平成 2 4 年度

薩摩川内市

			○	⑤ 4・6 月発送済み（がん検診との合同チラシ配布）		
母子保健事業の充実 【市民健康課】	(1) 母子保健事業の推進 ・乳幼児健診の受診率 9 5 % を目標とする。 ・こんにちは赤ちゃん事業の推進 訪問実施率 9 5 % を目標とする。	① 乳幼児健診 ・未受診者へ受診勧奨 ・受診勧奨後の未受診者へ報告 ② 母子保健推進員の活動推進	○ ○	事業を推進している。 受診率及び実施率は、年度末にわかる。 事業を推進している。		
救急医療体制の維持・充実、甕島地域医療体制の維持 【市民健康課】	(1) 救急医療・小児科産科救急体制の充実及び医療体制の安定的な運営	① 研究会・連絡会の開催（年 1 回以上開催する。） ② 住民受療意識啓発（チラシの配付及び広報紙への掲載を 1 回以上行う。） ③ 広域的支援体制の調査研究	△ ○ ○	① 未開催（開催予定なし） ② 広報紙に適正受診啓発記事掲載（H24. 9. 10 号） ③ 医療連携体制等検討会にて協議中 第 1 回医療連携体制等検討会（H23. 11. 21 開催） 第 2 回医療連携体制等検討会（H24. 8. 7 開催）		
	(2) 甕島地域医療体制の安定的な運営	① 甕島地域診療所の管理運営方針の研究 ② 甕島地域医療体制の充実	○ ○	① 社会医療法人による指定管理運営を協議 ② H24. 4. 1～上甕診療所の入院再開		
	(3) 医療従事者等の確保	① 医師確保、偏在解消の要望 ② 奨学資金の貸与（平成 2 4 年 5 月までに広報紙で募集掲載を行う。） ③ 看護師等の年次的な確保	○ △ △	① 医師については充足されている。 ② 奨学生募集（～9 月末）（応募者なし） ③ 職員、嘱託看護師を募集中であるが充足されていない。		

平成24年度

部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

	(4) 国民健康保険直営診療所の経営改善	① 職員研修の実施 ・看護師研修会を年1回以上開催する。 ・薬剤師による医薬品管理指導を年1回実施する。 ② 経営改善計画書の作成（平成24年5月までに作成する。） ③ 連絡調整会議の開催（年4回以上開催する。）	○ ○ △	① H24.12.15 看護師研修会実施 H24.9.8 医薬品管理指導（上飨）実施済 H24.10.20～21 医薬品管理指導（下飨）実施予定 ② H24.5 経営改善計画書作成 H24.10 上半期振り返り実施中 ③ H24.4.13 第1回事務部会 H24.9.26 第2回事務部会		
医療保険事業の充実 【保険年金課】	(1) 医療給付費の適正化等	① 従来の医療費通知に加え、柔道整復療養費の通知を実施 ② レセプト点検の外部委託 ③ ジェネリック医薬品差額通知 ④ 重複・多受診者への指導 ⑤ 医療費分析の実施 ⑥ 人間ドック補助金の拡充及び医療機関の拡大	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	① 通知済み（5・7・9月） ② 委託済み ③ 通知済み（6・7・8・9月） ④ 実施中 ⑤ 実施中 ⑥ PET 検診導入済み		
	(2) 後期高齢者医療制度の充実	① 制度の周知広報 ② 保健事業の実施	○ ○	① 広報紙掲載済み（5・7月） ② 単独事業実施済み（5～8月）		
	(3) 後期高齢者医療保険料の収納率向上	① 高齢者医療・介護給付の両グループが連携した徴収体制の	○	① 収納情報を共有し、連携して徴収している。		

部 局 経 営 方 針

平成24年度

薩摩川内市

	(全体: 県内平均以上 (98.77%)) ・滞納繰越分の収納強化	確保 ② 収納課との連携 ③ 電話催促、臨戸訪問の実施	△ ○	②収納情報の共有 ③実施中		
高齢者福祉の充実 【高齢・介護福祉課】	(1) 元気高齢者の健康づくり支援 ・はり・きゅう等利用券交付率: H23年度見込み 10.5%⇒H24年度 12.0% ・おでかけ支援券交付率: H23年度見込み 55.4%⇒H24年度 60.0%	① 市広報紙によるPR ② はり・きゅう等利用券の分冊化	○ ○	① H24.4.10号広報済 ② 1冊60枚綴り→1冊20枚綴り3冊までに変更済 ・はり・きゅう交付率 9月末 8.4% ・おでかけ支援券交付率 9月末 51.0%		
	(2) 高齢者福祉施設の維持管理	① 里生活支援ハウス ・ボイラー取替え ② 鹿島生活支援ハウス ・台所フローリング床張替え ・ホールエアコン取替え ③ 下甕生活支援ハウス ・用途廃止 ④ 甕島敬老園 (養護) ・トイレ改修 ・ガス回転式乾燥機取替え ⑤ 甕島敬老園 (特養) ・湿温配膳車更新 ⑥ 敬老園指定管理代行による管理運営業務の支援 ・職員派遣 (養護6名、特養4名)	× × ○ ○ × ○ ○ ○	① ・11月実施予定 ② ・白アリ駆除後、実施予定 ・H24.7.5完了 ③ ・廃止に向け関係課調整中 ④ ・11月実施予定 ・H24.6.25完了 ⑤ ・H24.6.26完了 ⑥ ・派遣中 (養護6名、特養4名)		
安心して暮らせる地域福祉社会の構築 【障害・社会福祉課】	(1) 障害者自立支援事業の充実	① 事業の情報提供及びニーズに応じた支援の充実	○	① 計画どおり実施中		
	(2) 相談支援の充実	① 指定特定相談支援事業者の確保 ② 地域移行に向けた支援会議参加	△ △	① 認定事業所数 4 ② 今年度は、該当事案なし		

部 局 経 営 方 針

平成 2 4 年度

薩摩川内市

	(3) 障害者自立支援協議会の充実	① 協議会、定例会の開催 ② 個別支援会議（随時）開催及び充実	○ ○	① 第 1 回協議会開催（9 月 10 日）、定例会は毎月開催 ② 計画どおり開催中	
	(4) 障害者計画の策定	① 意向調査の実施・分析	○	① アンケート調査を発送（10 月 25 日提出期限）	
	(5) 災害時要援護者避難支援制度の充実	① 個別支援計画の整備 ② 避難等補助者の選定 ③ 支援機関との連携・協力	○ △ ○	① 要援護者数 5,525 名のうち、登録申出者数 2,923 名 ② 避難等補助者選定率 約 6 4 % ③ 民生委員、自治会長等を含め、地域防災会議で協力依頼するとともに、該当者名簿等を配付した。	
	(6) 生活困窮世帯の把握	① 公共料金等滞納状況の把握（市関係） ② 関係課協議・連携	× ○	① 国の動向を見据え、水道料金等の滞納状況の共有化について検討していく。 ② 地域みまもりネット協力事業所 2 4 事業所（今年度 1 事業所追加）	
介護保険事業の充実 【高齢・介護福祉課】	(1) 第 5 期介護保険事業計画の推進	① 介護基盤の整備 ・グループホーム増床（川内地域 2 ユニット、上甕島地域 1 ユニット）、下甕島地域への創設準備 ・老人保健施設 2 0 床増床 ② 地域包括ケアシステムの検討 ・ 2 4 時間地域巡回・随時訪問サービス創設へ向けた取り組み	○ ○	① 増床（グループホーム、老人保健施設）整備事業者の選定済 ② 地域包括ケアシステム構築に向けた組織体制の整備、ニーズ調査の実施中	

平成24年度

部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

	(2) 介護給付の適正化・認定の迅速化 ・申請から結果通知までの期間を33日以内に	① 介護適正化の主要5事業実施 ② 認定調査の早期実施 ③ 主治医意見書の早期入手 ④ 審査判定依頼の早期実施	○ ① 主要5事業の実施のうちケアプランの点検、医療情報との突合・縦覧点検の実施（55件、進捗率51%） 住宅改修等の点検、介護給付費通知→（給付G）認定調査状況のチェック→（審査G） ○ ② 9月末集計平均日数 H24年度 11.1日間 （H23年度 19.0日間） ○ ③ 9月末集計平均日数 H24年度 17.1日間 （H23年度 18.1日間） ○ ④ 9月末集計平均日数 H24年度 31.2日間 （H23年度 41.7日間）	
	(3) 要介護（要支援）認定期間の延長制度の活用	① 新規（6か月⇒12か月） ② 更新（12か月⇒24か月）	○ ① 9月末集計割合 H24年度 678件/870件 （77.9%） [H23年度 21件/884件 （2.4%）] ○ ② 9月末集計割合 H24年度 746件/2,198件 （33.9%） [H23年度 950件/2,643件 （35.9%）]	
	(4) 介護保険料の収納率向上 ・現年分収納率維持（98.6%） ・滞納繰越分収納向上（12.5%）	① 保険年金課、収納対策課との連携 ② 電話催促、臨戸訪問の実施	○ ① 保険年金課と連携を図りながら収納対策に取り組んでいる。 ○ ② 9月末現在の収納率	

部 局 経 営 方 針

平成24年度

薩摩川内市

				・現年度分(42.2%) ・滞納繰越分(6.5%)		
	(5) 地域支援事業の効果的な運営支援	① 地域包括支援センター運営業務支援 ・職員派遣5名 ② 地域包括支援センター甑島地域サブセンター設置 ③ 地域包括支援センター運営協議会の効果的な運営方法検討	○ ○ ○	① 包括的支援事業及び新予防給付事業の実施 ・職員5名派遣中 ② 甑島地域サブセンター設置に向け社会福祉協議会との協議中 ③ 地域包括支援センター運営協議会の開催(10月、2月開催予定)		
安心して暮らせる地域福祉社会の構築 【福祉課】	(1) 生活保護法に基づく自立支援・保護者への求職相談等の実施 ①就労支援員ハローワーク同行回数 680回 (うち窓口相談回数 200回) ②求人先面接回数 130回	① 必要な生活水準の確保など援助を要する市民の生活維持と就労支援等による生活の自立支援	○	① 就労支援員はローワーク同行回数 427回 (うち窓口相談回数 118回) ② 求人先面接回数 89回		
少子化対策・子育て支援の充実 【子育て支援課】	(1) 保育所待機児童の対策の推進	① 保育所の定員増等による待機児童の解消	○	① 2保育園の増改築により80人の定員増及び4保育園における50人の定員増を行った。		
	(2) 児童の健全育成	① 放課後児童クラブの整備・支援：(特に平佐西校区) ② 指導員の資質向上	○ ○	① 平佐西第二児童クラブ(仮称)の整備予算措置、里児童クラブ(仮称)の整備予算要求を行った。 ② 研修計画どおり実施		
	(3) 下甑へき地保育所の整備	① 保育施設の無い下甑地区に保育施設の整備を図る	△	① 青瀬小学校跡地に下甑保育園の建設、整備を行っている。		

部 局 経 営 方 針

平成24年度

薩摩川内市

質の高い市民サービス 【市民課】 【保険年金課】	(1) 職員のスキルアップ	① グループ内研修実施(説明責任)随時 ② Q&A の作成	△	実施しているが、Q&Aは一部の作成に留まっている。		
	(2) 市民目線の窓口改善	① 誘導、窓口表示を分かりやすく明確にする。 ② 低カウンターや間仕切りを設置	△	12月頃に実施する。 (行革課9月中に入札予定)		
	(3) やさしい市役所	① 迷ってる市民への声かけの実施	○	迷っている市民へは、積極的に声かけをしている。		
	(4) 相談事業の積極的な広報と相談体制の充実	① 国民年金の広報と相談体制の充実(年金事務所との連携) →年金相談所の開設(甑4支所) ② 支所とテレビ会議を使った消費生活などの各種の市民相談の実施	○ △	① 広報紙掲載済み(6月)年金相談所(甑島地域)→4回開設(6・7月) ② 周知は行っているが、利用率は低い。		
環境の保全 【環境課】	(1) ラムサール条約登録湿地の蘭牟田池の保全	① 水質・底質等調査の実施(継続) ② 外来魚リリース禁止の啓発、回収事業の実施(継続) ③ 外来魚駆除体制の確立 ④ ビオトープ維持管理 ⑤ 自然観察会の実施	○ ○ △ ○ ○	① 環境調査委託発注済 ② 回収業務委託発注済 啓発用回収袋設置済 ③ 今後保全連絡会で検討 ④ 委託発注済 ⑤ 春・秋の2回実施済		
	(2) 環境月間、地球温暖化防止月間を通じた、環境保全、地球温暖化防止の取組みの推進	① 広報紙トピックスを利用し、6月(環境月間)、12月(地球温暖化防止月間)に、環境保全、地球温暖化防止の啓発記事を掲載する。 ② エコファミリー事業の実施 ③ 民間事業者の風力発電事業に係る環境整備事業の実施	○ ○ ○	① 6月号発行済 ② 地球にやさしい環境整備事業補助金検証アンケートとともに実施予定 ③ 事業者と協議・調整を図りながら進めている。		

部 局 経 営 方 針

平成 2 4 年度

薩摩川内市

	(3) 環境美化活動の推進	① 環境美化推進員設置と連携 ② 広報及びパトロールの実施 ③ 快適環境づくり補助金の周知 ④ 地球にやさしい環境整備補助金の周知 ⑤ 衛生自治団体連合会との連携による美化活動の支援	○ ○ ○ ○ ○	① 平成 2 3 年 4 月 1 日に美化推進員任命。本年度 2 年目。推進員宅を訪問するなど連携の確認を行った。 ② 広報薩摩川内 5 月 2 5 日号と 7 月発行の衛自連だよりに掲載済。5 月 3 0 日から 6 月 5 日の 1 週間、環境美化推進員と市職員合同による不法投棄パトロールを実施した。 ③ 広報紙掲載 1 回実施 ④ 広報紙掲載 2 回実施 ⑤ 衛生自治団体連合会と美化活動について意見交換を行いながら進めている。		
	(4) 公害対策	① 環境測定の実施 ② 新たな環境保全条例の制定	○ ○	① 環境測定委託発注済 ② 9 月議会において新たな環境保全条例制定済		
ごみ減量化・リサイクルの推進 【環境課】	(1) ごみ分別の徹底	① 広報紙等によるごみ分別の周知 ② リサイクル推進員を配置し分別の指導・周知 ③ 自治会未加入者対策として公設ステーションでの指導・周知	× ○ ○	① ごみ分別の周知については上半期行っていない。 ② リサイクル推進員からの質問等については個々に対応し、指導している。 ③ シルバー人材センターに委託して指導をしている。		

部 局 経 営 方 針

平成 2 4 年度

薩摩川内市

ごみ処理の集約化の推進	(1) 将来に向けたごみ処理の検討	① 甑島可燃ごみ島外搬出の検討 ② 入来・祁答院地域のごみを平成 2 5 年度から川内 C C へ搬入	○ ○	① 大型ごみ収集車両予算 9 月議会に可決、購入手続きを進めている。 ② 入来及び祁答院の地区コミに説明し、本土統一ハンドブック素案作成済。1 2 月議会に向け条例改正の準備を行っている。		
施設の適切な管理 【環境課】	(1) 適切な施設の管理	① 甑島クリーンセンターの適切管理 ② 川内及び甑島地域の葬斎場の適切管理 ③ 市営墓地、共同納骨堂の適切管理 ④ 川内汚泥再生処理センターの適正管理及び進入路整備 ⑤ 旧川内環境センターの解体 ⑥ 下甑環境センターの適切管理 ⑦ 閉鎖最終処分場の適正監視	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	① 施設を休止し、島外搬出に向けストックヤード整備を進めている。 ② 指定管理者と協議しながら適切な管理を進めている。 ③ ②と同様 ④ 事業者と協議しながら適正な管理を行なっている 進入路整備は H25 年度（旧施設解体後）整備予定。 ⑤ 6 月契約済 ⑥ 委託業者と協議しながら適切な管理を行なっている。 ⑦ 委託業者と協議しながら適正な監視を行なっている。		

部 局 経 営 方 針

平成24年度

薩摩川内市

	(2) 将来に向けた施設整備の検討	① 循環型社会形成推進地域計画の策定 ② 川内クリーンセンターの包括的委託又は委託拡充の検討 ③ 閉鎖最終処分場の適正廃止	○ ① 策定委託発注済。計画素案の検討を行っている。 ○ ② 委託拡充の範囲、長期包括委託を実施した場合の課題、スケジュール等の検討を行っている。 ○ ③ 湯之牟礼廃タイヤ処分済 今後県と廃止に向け協議を進めている。		
施設の整備と健全な稼働 【川内クリーンセンター】	(1) 施設の健全な稼働 (2) 最終処分場の延命化	① 定期点検等による施設の適正な能力の確保 ② 焼却灰等の場外搬出による埋立量の削減(県外事業者への計画的な焼却灰等の処分委託等)	○ ① 各施設・設備について、計画的に点検補修を実施し、施設の適正な能力の確保に努めている。 ○ ② 焼却灰・飛灰を、県外の処分場へ搬出することにより最終処分場の延命化を行っている。		
⑦年度中間総括	① 概ね計画どおりに進捗している。 ② 計画より遅れている事業(△)については、中間総括時点としてはほぼ予定どおりといえるが、今回の中間総括の検証を踏まえ、下半期の取組を強化したい。 ③ 未実施分(×)については、年度末に予定しているものもあるが、年度末の計画達成に向けて、速やかに取り組みたい。				
⑨年度末総括					